

日本的いのち教育のための教材開発 — 小学校高学年向け教材 —

○ 吹山 八重子 得丸 定子（上越教育大 生活・健康）

【目的】子どもたちの心の荒廃が懸念されている現在、学校教育における死を含む“いのち教育”の必要性が高まってきている。しかし、現時点における“いのち教育”の実践に関しては、カリキュラムの検討はもとより、授業教材の不備が課題として挙げられる。さらに、より日本人の感性に合った“いのち教育”の展開が課題であると考えられる。本研究では“日本的いのち教育”に用いる授業教材を開発し、その有効性を検討することを目的とした。

【方法】市販のパソコンソフトを用いて、教材を制作した。さらに、その有効性や改善点を知るために、新潟県内の小学校2校を対象に授業実践を行った。

【結果】本教材は、子どもがより興味を示すと考えられる「ドラえもん」を登場させたこと、パソコンを用いた教材であること、家庭科をはじめ様々な教科で展開可能な教材であること、日本人の感性に合った教材を目指したことが特徴である。内容は、「死の概念」に絞った。本教材を用いた授業実践では、児童が大変興味を持って視聴し、自分なりに様々な「死」について考えるきっかけになったと捉えられた。一方、本教材の使用語句が、多少難解な箇所があったことと、より日本人の感性に合った教材作りへの創意・工夫が今後の課題として挙げられた。